

原っ子だより

本原小学校 学校だより

平成30年 11月22日

NO. 6

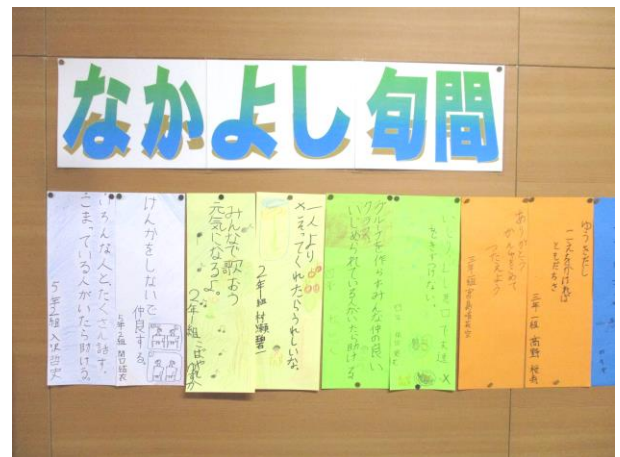
なかよし旬間！

10月22日(月)～11月10日(土)まで、なかよし旬間がありました。この旬間は、「児童・職員が日常生活を見返し、全校で課題をもって人権教育に取り組み、子どもたちが学級・学年でよりよい人間関係を築くことができるようする」というねらいで行いました。

旬間のはじめには、なかよしアンケートをとり、その後、担任や心の相談員が子どもたちと面談して、悩みを聞いたり、困っていることに対して対応したりしました。

<ちかいのことば>の作成

各学級、短冊になかよし標語（ちかいのことば）を書いて「なかよし」について考えました。その中に「ありがとう 感謝を込めて 伝えよう」「みんなで 歌おう 元気になるよ」という低学年の児童の標語がありました。このような標語を読むと元気になる心が暖かくなります。全校の作品が廊下に貼られていましたが、それを読み、様々なことに対して意欲的に取り組もうとする気持ちになった子どもが多かったと思います。



<校長先生からのお話>

10月30日、なかよし旬間に併せて校長講話がありました。校長先生は、はじめ『みずいろのマフラー（くすのきしげのり 文・松成真理子 絵）』という絵本の読み聞かせをしました。その後、子どもたちは、「いじめてるつもりないけれど ついつい…」「いうことを聞いてくれるから ますます…」というようなことが、友人関係の中でないか一人一人で考えました。体育館全体がシーンとなり、全校が、友達について、自分の今までの行動について考えました。なかよしに関して、じっくり考える時間となりました。



持久走大会・参観日



11月10日の土曜日は、午前中は**持久走大会**で、午後は参観日と学校運営委員会がありました。

毎年、持久走大会は開催されていますが、校庭をスタートして行う大会は4年ぶりです。校庭を1周半してから公道へです。前半は、ひたすらのぼり、そして後半はくだりです。かなりハードなコースです。そんなコースを全校児童が、全力で走りきりました。沿道では保護者

の皆様や地域の皆様が応援してくださりました。走りきった子どもたちの顔は、みんな満足そうな顔をしていました。

午後は、参観日でした。授業参観の前には、**プレゼンタイム**が行われました。

今回のテーマは「ラストステージ」。金管バンド部の6年が、3年間で練習した曲を再度練習して全校の前で発表しました。素晴らしい演奏でした。6年生にとって思い出深いステージとなりました。

参観授業では、なかよし旬間の最終日ということもあり、人権教育に関する授業が行われました。子どもたちが活発に自分の考えを言う場面が多く見られました。

また、**学校運営委員会**では、授業の様子や学校運営について、130周年記念についてなど多くの内容に関するご意見をいただきました。今後に生かしていきたいと考えます。



保護者の皆様・地域の皆様へ感謝

10月の下旬からの1ヶ月、保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただくことが多くありました。天候がすぐれないところ、朝早くから資源回収をやっていただきました。日々の授業では、尺八の授業、脱穀、ミシンの学習、地域探検、算数の授業等、様々な支援をしていただきました。今後も様々な所でお支えいただくとおと思いますが、よろしくお願い致します。